

第5回
チャレンジカップ

プログラム

日 程： 令和3年3月27日(土)～3月28日(日)
場 所： 壬生乗馬クラブ
主 催： 日本社会人団体馬術連盟

競 技 日 程

3月27日(土)

- 8:30 大会責任者・コースデザイナー・学生集合、コース設営
- 8:45 大会役員・審判・馬匹提供団体集合、打合せ
- 9:00 選手・馬匹担当役員集合、開会式(出場選手は正装にて集合)
- 13:00 コースオープン(チャレンジカップ選手下見)
- 13:40 チャレンジカップ使用馬匹試走開始(提供団体)
- 14:00 チャレンジカップ 60cm
- 14:10 組替・馬場整備
- 14:20 チャレンジカップ 80cm
- 14:30 障害組換・馬場整備
- 14:35 部班競技使用馬匹準備運動開始(提供団体)
- 14:50 チャレンジカップ 部班(速歩)
- 15:05 チャレンジカップ 部班(駈歩)
- 16:00 チャレンジカップ表彰式

3月28日(日)

- 8:20 大会役員・学生・審判・馬匹提供団体集合、打合せ
コースオープン(ジムカーナ、チャレンジカップ選手下見)
 - 8:35 選手・馬匹担当役員集合、連絡事項伝達
 - 9:05 ジムカーナ使用馬匹試走開始(提供団体)
 - 9:15 ジムカーナ競技
 - 9:30 チャレンジカップ使用馬匹試走開始(提供団体)
 - 9:40 チャレンジカップ 60cm
 - 9:50 組替
 - 10:00 チャレンジカップ 70cm
 - 10:10 組替
 - 10:20 チャレンジカップ 80cm
 - 15:00 チャレンジカップ表彰式・実業団戦表彰式(正装)、終了後解散
- ※当日の天気や進行により、前倒し等、変更する場合があります

第5回 JBG チャレンジカップ 実施要項

1. 大会名: 第5回 JBG チャレンジカップ
2. 主催: 日本社会人団体馬術連盟
3. 開催日: 令和3年3月27日(土)～28日(日)
4. 開催場所: 壬生乗馬クラブ(栃木県下都賀郡壬生町国谷2123)
5. 競技種目:
 - 3月27日(土)
 - (1)小障害飛越競技(60cm)、(80cm)
 - (2)部班競技(速歩班、駈歩班)
 - 3月28日(日)
 - (3)小障害飛越競技(60cm)、(70cm)、(80cm)
 - (4)ジムカーナ競技(速歩班、駈歩班)
6. 出場資格
 - (1) 小障害飛越競技(60cm)、(70cm)は、日本社会人団体馬術連盟 騎乗者資格 C グレード以上の保有者であり、各団体の責任において出場して問題無いレベルであると認めた部員。(小障害飛越競技(60cm)はBグレード以上の保有者は出場できない)
小障害飛越競技(80cm)は、日本社会人団体馬術連盟 騎乗者資格 B グレード以上の保有者であり、各団体の責任において出場して問題無いレベルであると認めた部員。
 - (2) 部班競技、ジムカーナ競技は日本社会人団体馬術連盟 騎乗者資格 C グレード以下の保有者であり、各団体の責任において出場して問題無いレベルであると認めた部員。
 - (3) 第58回全日本実業団障害馬術大会への選手登録がされていないこと。
 - (4) 馬匹の馬装と手入れが問題なくできること。
 - (5) 何らかの傷害保険に加入していること。
7. 競技形式
 - (1) 競技方法(小障害飛越競技/ジムカーナ競技)

競技規定は、最新の国際馬術連盟障害飛越競技会規程及び日本馬術連盟競技会規程、国民体育大会馬術競技規程(失権者の減点算出法)を採用する。3 反抗失権とし、基準タイムの設定など一部ローカルルールを採用する。使用予定馬が故障などにより使用不能となった場合の再走行は行わない。

 1. 主催者が事前に割り当てた馬匹に騎乗してコースを走行し、その成績によって勝敗を決する。
 2. 小障害飛越競技のコースは、以下の構成とする
60cm クラスは高さ60cmまでの単一の垂直障害で構成される。
70cm クラスは高さ70cmまでの単一障害、もしくは幅80cmまでのオクサー障害で構成される。
80cm クラスは高さ70cmまでの単一障害、もしくは幅80cmまでのオクサー障害で構成される。
 - (2) 順位の決定方法(小障害飛越競技/ジムカーナ競技)
 1. 減点の少ない者を上位とする。
 2. 減点と同点の場合は、走行タイムの基準タイムとの差の絶対値の少ない者を上位とする。

3. 以上で決まらない場合は、同位とする。
 - (3) 競技方法(部班競技)
15分程度の部班運動による審査を行い、複数名の審判により採点を行う。
 - (4) 順位の決定方法(部班競技)
得点数の高い者を上位とする。
8. 表彰
- (1) 各競技それぞれ、上位3名を表彰する。
9. 注意事項
- (1) 参加者・馬取扱者・観覧者の事故疾病について、主催者は応急処置をするが、その責は負わない。
 - (2) 出場者数及び馬匹、その他の理由により、やむを得ず要綱及び日程等の一部を変更して実施する場合もある。競技の詳細等については、当日の打ち合わせにおいて説明するので、注意すること。
 - (3) 準備運動は3分とし、障害は2飛越以内とする。クロス障害の飛越は回数に含めない
 - (4) 選手の準備運動場における飛越回数オーバーは失権、逆標旗飛越については都度罰金3万円を課す。
 - (5) 出場者は必ず保護帽を着用すること。保護帽は容易に脱落しないよう恒久的に取り外しが出来ない顎紐がシェル部に3点以上で固定されたものでなければならない。
 - (6) 拍車は2.5cm以内の丸又は棒拍とし馬匹提供団体および審判長の指示に従うこと。
 - (7) 服装については正装とする。なお、安全のためエアバック式のプロテクター着用を推奨する。
※部班・ジムカーナは正装でなくても可(3点固定式の保護帽を着用。上らん着用および白キュロットは必須ではない。チャップスも可)
 - (8) 本大会は(公社)日本馬術連盟の「馬術競技会における新型コロナウイルス「COVID-19」感染拡大予防ガイドライン」、および日本社会人団体馬術連盟の「新型コロナウイルス対策ガイド」に基づき開催する。すべての選手及び関係者・来場者は別紙記載のガイドラインを遵守し、感染防止に十分な配慮をするとともに、「健康観察・行動記録」を団体ごとに毎日競技開始前に提出すること。提出されていない場合は、出場を認めない場合がある。
また、エントリー時に新型コロナウイルスに関する「誓約書」を必ず提出すること。(提出方法は別途開催案内に記載する)

以上

日本社会人団体馬術連盟 加盟団体

(2020年5月11日現在)

【正会員団体】19団体

(株)魚国総本社馬術部	日本アイ・ビー・エム(株)馬術部
グーグル合同会社馬術部	(株)日本馬事普及馬事研究部
警視庁乗馬同好会	パナソニック(株)馬術部
皇宮警察本部	パナソニックシステムネットワークス(株)馬術部
社会人昭和大学ライディングチーム	(株)日立国際電気馬術部
衆議院乗馬会	富士通(株)馬術部
SOMPO ホールディングス馬術部	防衛省乗馬同好会
東京都庁体育会乗馬部	三井物産(株)乗馬部
特別区文化体育会乗馬部	レッキス工業(株)馬術部
トッパン・フォームズ(株)馬術部	

【準会員団体】15団体

青波馬術愛好会	ソニー馬術部
伊藤忠商事相互会乗馬部	TMG 乗馬同好会
茨城県庁乗馬部	日本知的財産協会馬術部
エグゼクティブコーチ馬術部	(株)三菱総合研究所馬術部
NTT 馬術部	税理士法人山田&パートナーズ乗馬同好会
F.R.C. book farm	ヤフー乗馬部
スリーエムジャパン馬術愛好会	(株)ワールドマーケット乗馬部
セゾングループ乗馬部	

馬のウェルフェアのための馬スポーツ憲章



国際馬術連盟(FEI)は、国際的な馬スポーツに係わるすべての者が、FEI馬スポーツ憲章を遵守し、いかなる場合にも馬のウェルフェアが最優先され、決して競技の勝敗または商業的な影響を受けてはならないことに同意し、これを受け入れることを求めるものである。

1. 競技出場への準備段階や競技馬の調教段階のいずれの時点においても、馬のウェルフェアが他のどのような要求よりも優先されなければならない。
2. 競技馬と選手は競技出場の許可を得る前に、コンディションが良好で競技参加にふさわしい状態にあり、健康状態も良好でなければならない。
3. 競技会が馬のウェルフェアを損なってはならない。
4. 競技参加後の馬が十分な手入れをされること、また現役を退いた馬が人道的な扱いを受けるための最大限の努力をしなければならない。
5. FEIは馬術スポーツに係わるすべての者が、競技馬のケアおよび管理に関連する各々の専門分野において、可能な限り高いレベルに到達するよう推進する。

FEI CODE OF CONDUCT FOR THE WELFARE OF THE HORSE - FEI

https://www.equitation-japan.com/about_02.html

FEI馬スポーツ憲章 - 日本馬術連盟

http://www.equitation-japan.com/library/library_regulation/016_sports_kensyou.pdf

基本原則と理念 - 日本社会人団体馬術連盟

<http://www.jbg.jp/about/principle>

<< 必読 >>

社会人 貸与馬戦の心得

ウィークエンドライダーが中心の社会人にとって、誰が乗るかわからない競技に大切な馬を貸して下さる乗馬クラブや大学は、とてもありがたいものです。また、これらの馬がいなくなれば、我々の競技会は1試合も成り立ちません。皆様が、一戦一戦大切に乘ってくださることで、貸して下さる乗馬クラブや大学との繋がりも広がります。社会人だからこそ、皆様の良識と経験を頼りに競技会を開催しておりますが、以下の点につきまして特に皆様のご理解を頂きたいと思っております。

1. 馬を大切にしてください。
馬は、1回限りの使い捨て自転車ではありません。会ったこともない自分のために、力を尽くして競技してくれるのです。自分の馬と同じように扱い、丁寧に乗りましょう。その場の成績に目がくらんで、行き過ぎた騎乗をしないように気遣いましょう。
2. 貸して下さる団体の方に挨拶を。
参加費を払っていても、馬を借りることには変わりありません。馬にもそうですが、貸して下さる方にも、乗る前の「よろしくお願ひします」乗った後の「ありがとうございました」の一言を忘れずに。競技の結果で挨拶が変わるようでは社会人の名が泣きます。
3. 馬の悪口を言わない。
競技はミズモノです。常に誰かが負け、誰かが勝ちます。原因はあなたかも知れないし、馬かも知れない。単に折り合いが悪いのかも知れないし、運が悪かったのかも知れない。どんな結果でも、次へつながるものへとしたいですね。「勝てば馬のせい、負ければ自分のせい」は全世界共通の馬乗りの基本です。ましてや、借りている馬に対し悪くいうのはもってのほか。品位を疑われてしまいます。
4. 最後まで面倒を見ましょう。
馬装を目の前でしていても前でぼーっと見ていたり、汗だらけの馬をそのまま渡したりせず、競技時間の許す限りは最優先で馬の面倒を見ましょう。どこの、誰の馬でも、その時に自分が乗ったら、手入れまでが自分の責任です。できない場合には、一言、やったださる方に断りましょう。「社会人に貸すと馬ピカピカにして返してくれるんだよな」こんな言葉がいつか聞けるといいですね。

お互いに気持ちよく、楽しく競技をしたい、というのは、共通の願ひだと思っております。社会人競技のこれからの発展のためにも、皆で協力していきましょう。一人一人の小さな行動が、社会人馬術の未来へつながっているのです。ご協力に心より感謝いたします。

日本社会人団体馬術連盟 (社馬連/JBG)

- Japan Business Group Equestrian Federation -

〒104-0033 東京都中央区新川 2-6-4 新川エフ 2 ビル 6F

TEL: 03-3297-5630 FAX: 03-3297-5636 E-mail: shabaren@jbg.jp

Homepage: <https://jbg.jp/> <https://www.jbg.jp/> - 加盟団体募集中です

Twitter: <https://jbg.jp/t> https://twitter.com/JBG_Shabaren - 最新情報や馬に関するつぶやき

Facebook: <https://jbg.jp/f> <https://www.facebook.com/JBG.Shabaren> - 最新情報はこちらからも

YouTube: <https://jbg.jp/y> <https://www.youtube.com/user/JBGShabaren> - 大会中継・録画動画

Instagram: <https://jbg.jp/i> https://www.instagram.com/jbg_shabaren/ - 写真なども